

堤防の補強対策を進めています

④ R1越辺川左岸正代仮置土整備工事(東松山市正代地先)【関口工業(株)】



R2.6.23撮影(盛土材混合処理の機械)



受注者(関口工業(株))からのコメント

R1越辺川左岸正代仮置土整備工事を施工しています関口工業株式会社の皆川です。当工事は、堤防盛土に必要な土砂の混合及び置場の整備工事を行っています。工事期間中は土砂を運搬する車両が多く通行し、地域の皆様にはご不便をおかけすることと思いますが、ご理解ご協力いただけるよう、安全に十分配慮しながら作業を行っていきます。現場に関してお気づきの点がございましたら、気軽にお声掛け下さいますようお願いいたします。

監理技術者:中村 現場代理人:皆川

① 川越市平塚新田地先【荒木建設工業(株)】



R2.6.23撮影

③ 東松山市石橋地先【(株)島村工業】



R2.6.24撮影

③ 東松山市葛袋地先【(株)島村工業】



R2.6.24撮影

② 東松山市早俣地先【伊田テクノス(株)】



R2.6.17撮影

■工事等実施状況

R2.6.26現在、引き続き堤防補強工事を行っています。

7月中旬には「東松山市石橋地先」「東松山市葛袋地先」の工事が完了予定です。



工事実施状況の詳細はコチラ ➡



共同巡視を実施しています

共同巡視とは、洪水に対するリスクの高い区間（過去に被災した箇所、昔は川が流れていた場所など）を水防管理団体と荒川上流河川事務所が共同で毎年開催している現場点検です。

事前に合同で現地を確認することにより、洪水時に水防団による迅速な水防活動（土嚢積みなど）を行うことができるよう準備します。

洪水に対するリスクの高い区間は重要水防箇所として事務所ホームページに掲載していますので、確認してみてください。



重要水防箇所の情報はコチラから⇒

令和2年実施状況（越辺川）



令和2年実施状況（都幾川）



洪水ハザードマップについて

洪水ハザードマップとは、国や県によって指定・公表されている浸水想定区域図を元に自治体が作成するマップです。

このマップには、想定される最大の大雨が降った場合に浸水が発生する範囲や避難所や避難経路などが記載されています。

避難所への道路が浸水により通れない場合が想定されますので、どの道路を通過してどこに避難するか事前に考えてみてください。



ハザードマップポータルサイトで各自治体の情報が確認できます



測量、地質調査等の実施について

現在、被災箇所における堤防復旧工事を行っていますが、これから実施していく「樹木伐採・河道掘削」「堤防整備」などを行うための測量や地質調査などを順次実施していきます。

調査の際は車両の通行禁止を伴う場合もあり、ご迷惑おかけいたしますがプロジェクトの円滑な推進のためご協力の程よろしく申し上げます。



(写真左) 堤防部における地質調査
(写真右) UAVを用いた河川測量

入間川流域 緊急治水対策プロジェクト

入間川流域緊急治水対策プロジェクトの情報はコチラ
<https://www.ktr.mlit.go.jp/araajo/araajo00885.html>



国土交通省 関東地方整備局
荒川上流河川事務所

工事に関する問合せ：越辺川出張所（0493-34-3129）
事業に関する問合せ：荒川緊急治水対策推進室（049-246-6360）